

第3期中期目標期間の業務実績評価シート（委員集約）

内容項目	第3期中期目標期間						第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	第2期の 評価結果	参考				見込 評価	第3期 評価
	法人 自己 評価	評価委員会評価							R1	R2	R3	R4		
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員								
1 市民病院としての役割の 明確化	—	—	—	—	—	—		B	A	A	A	A	A	A
(1) 医療機能の明確化	4	4	4	4	4	4	(A委員) 新型コロナ蔓延の3年間にわたり通常医療に加えて新型コロナに適切に対応した。 (B委員) 病院の老朽化に伴い、医療機器の整備が思うよういかない中、医療ニーズや医療課題に適切に対応した。 (C委員) 総合病院としての医療機能を明確にし、内視鏡センターや患者サポートセンターを設置し、地域の中核病院としてここ数年問題となっている感染症対応も十分行えている。 (D委員) 急性期医療を中心としながらも回復期機能にも一定の軸足を置いて、医療機能を整備している。COVID-19患者の対応は地域の医療需要や課題、医療政策を勘案した自治体病院としての役割機能を果たしているため、計画を上回っていると評価。 (E委員) 第3期中期目標期間を通じ、評価できる。	4	4	4	5	4	4	4
(2) 地域包括ケアシステムにおける機能の強化	4	4	4	4	4	4	(B委員) 地域包括ケアシステムの中心的な役割を積極的に担っている。 (C委員) 新型コロナウイルス感染(COVID-19)の期間中であったが、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、訪問看護ステーションの機能を十分果たしている。 (D委員) 地域医療支援病院として、在宅患者への対応、地域包括ケア病棟・訪問看護ステーションの運用、回復期リハビリテーション病棟の運用が、計画を上回っていると評価。 (E委員) 地域包括ケア病棟及び回復期リハ病棟の稼働率を維持しており、評価できる。	3	4	4	4	4	4	4
(3) 災害及び重大な感染症発生時への対応	5	5	5	5	5	5	(B委員) 健康危機の事象発生に対して関係機関との連携、協力が十分にとれている。 (C委員) COVID-19の対応として、HCUでの重症者の受け入れを含め適正に行っており、中核病院として行政とも連携体制がとれている。 (D委員) 新型コロナウイルスへの診療は、中等症以下のCOVID-19患者を中心に、市内唯一のCOVID-19重点医療機関としての役割を果たしていることから、計画を大幅に上回っている。	3	4	5	5	5	5	5

内 容 項 目	第3期中期目標期間						第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	第2期の 評価結果	参 考				見込 評価	第3期 評価
	法人 自己 評価	評価委員会評価							R1	R2	R3	R4		
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員								
2 高度な総合的医療の推進		—	—	—	—	—		A	A	A	A	A	A	A
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 (1) 急性期医療を中心とした総合的な医療の提供	4	4	4	4	4	4	(B委員) コロナ診療体制を維持しながらも診療体制の充実を図り、急性期医療を提供し、また地ケア病棟、回りハ病棟の有効的な稼働率を維持した。 (C委員) 常勤医師の増加や診療科の新設を行い、急性期から地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーションの利用を適切に行い、患者の総合的対応ができています。しかし、救急医療を含め通常診療が、平時と同等の医療提供体制として戻すことが可能かが課題である。 (D委員) 総合病院の強みを活かして急性期医療の提供を中心に、COVID-19診療を加味して、計画を上回っていると評価。 (E委員) コロナ禍においても総合病院に求められる急性期医療の提供を継続できており、実績も上がっていることから計画を上回っているものと評価できる。	4	4	4	4	4	4	4
(2) 救急医療の推進	3	3	3	3	3	3	(B委員) 院内コロナ感染の発生などのためお断り率の悪化があったものの救急体制を維持し搬送数も平時に戻したことから計画通りとする。 (C委員) COVID-19下でも救急医療体制を維持し、COVID-19における外来診察や病棟の制限を考慮すれば、平時とほぼ同じ救急医療の提供ができていたのではと推測される。 (D委員) COVID-19の影響を受け、救急車による搬入患者数やお断り率の目標値の達成には至っていないため、計画どおりと評価。 (E委員) ウォークインを含む救急患者の受入数は増加しており、さらに明石管内だけでなく神戸市西区消防局との連携も図るなどその積極的な取組は評価できる。	4	3	3	3	4	3	3
(3) 市と連携した政策医療の充実	4	4	4	4	4	4	(B委員) ユニバーサル歯科診療所との連携強化、市の子育て支援策の病児、病後児童保育事業を継承した事などを評価して計画を上回ると判断。 (C委員) 行政と共にCOVID-19ワクチン接種を行い、子育ての共同作業として行政と共に病育を継続している。 (D委員) ユニバーサル歯科診療所の開設により医科歯科連携が進められ、関連指標の実績値が増加傾向を示し、計画を上回っていると評価。 (E委員) 子育て支援策と位置づける病児・病後児保育事業の運営に参入するなど政策医療に積極的関与している取組は評価できる。	3	4	4	4	4	4	4

内容項目	第3期中期目標期間						第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	第2期の 評価結果	参考				見込 評価	第3期 評価
	法人 自己 評価	評価委員会評価							R1	R2	R3	R4		
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員								
上に関する目標を達成するためとるべき措置	3	—	—	—	—	—		B	B	B	B	B	B	B
	(1) 医療における信頼と納得の実現	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	(2) 利用者本位のサービスの向上	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	3	4	4
第1市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	4	—	—	—	—	—		A	A	A	A	A	A	A
	(1) 地域医療支援病院としての役割の強化	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	4	3	3
	(2) 地域社会や地域の諸団体との交流	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	4	4

内 容 項 目	第3期中期目標期間						第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見 等)	第2期の 評価結果	参 考				見込 評価	第3期 評価
	法人 自己 評価	評価委員会評価							R1	R2	R3	R4		
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員								
上に関する目標を達成するためのべき措置	5 総合力による医療の提供		—	—	—	—	—	B	B	B	B	B	B	B
	(1) チーム医療と院内連携の推進	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3
	(2) 情報の一元化と共有	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3

内 容 項 目	第3期中期目標期間						第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	第2期の 評価結果	参 考				見込 評価	第3期 評価	
	法人 自己 評価	評価委員会評価							第3期評価結果						
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員			R1	R2	R3	R4			
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	6	医療の質の向上	—	—	—	—	—	B	B	A	B	B	B	B	
		(1) 医療安全や感染防止対策の徹底	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		(2) 質の向上のための取組の強化	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3
		(3) コンプライアンス（法令・行動規範の遵守）の強化	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3

内 容 項 目	第3期中期目標期間						第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	第2期の 評価結果	参 考				見込 評価	第3期 評価
	法人 自己 評価	評価委員会評価							R1	R2	R3	R4		
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員								
1 医療職が集まり成長する 人材マネジメント		—	—	—	—	—		B	B	B	B	B	B	B
(1) 必要な医療職の確保	3	3	3	3	3	3	(B委員) 医師、看護師の負担軽減策、雇用形態の多様化にも対応し、また働き方改革にも誠実に取り組んでいる。 (D委員) 医療職の確保は、積極的に取り組んでおり、計画どおりと評価。 (E委員) 期末医師数は目標を下回り、昨年度からも1名減となり、医師の確保は眼下の最重要課題である。医師が増えなければ看護師も増えず、安定した収益の確保が遠くなることからつなぎ留めの施策を含め様々な対応が必要である。	3	3	3	3	3	3	3
(2) 魅力ある人材育成シ ステム	3	3	3	3	3	3	(B委員) 中期目標に対して計画通りとする。 (D委員) 人材育成を目的とした取り組みは継続して行われており、計画どおりと評価。	3	3	3	3	4	3	3
2 経営管理機能の充実		—	—	—	—	—		B	B	B	A	A	B	A
(1) 役員の責務	3	3	3	3	3	3	(A委員) 次期の役員体制変更にあたって改めて役員の責務について徹底されたい。 (B委員) 担当業務を分掌し重要会議で対策の決定、意志決定に寄与している。 (D委員) 4年間の評価として計画どおり。	3	3	3	3	3	3	3
(2) 管理運営体制の充実	4	4	4	4	3	4	(B委員) BSCと人事評価を切り分けたことで病院方針の連続性を維持することが出来、適性運用することで部門長の責任が意識づけができた。 (D委員) 4年間の評価として計画どおり。	3	3	3	4	4	3	4
(3) 事務職の育成の推進	4	4	4	4	4	4	(B委員) 行政の要職者、民間病院経験豊富な人材を確保し専門性の向上を図り人材育成を推進している。 (D委員) 市派遣職員からプロパー職員への置換が進み、経営管理部門の組織再編も行っている事から、計画を上回っていると評価。 (E委員) 経営管理本部の課制を廃止し、担当制としたことは人材の硬直化を防ぐだけでなく、内部統制上も有効と考えられることから評価できる。	3	3	3	4	4	3	4

直近の評価を優先して4とするが、コメントで取り組みの継続実施を望む旨を記載。

内 容 項 目	第3期中期目標期間							第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	第2期の 評価結果	参 考				見込 評価	第3期 評価
	法人 自己 評価	評価委員会評価					R1			R2	R3	R4			
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員									
第2 業 務 運 営 の 改 善 及 び 効 率 化 に 関 す る 目 標 を 達 成 す る た め と る べき 措 置	3 構造改革の推進		—	—	—	—	—		B	B	B	B	A	B	B
	(1) 組織風土の改革	4	3	4	4	3	4	(A委員) 好ましい組織風土をいかにして醸成するかという本来の組織文化の改善にも取り組んでいただきたい。 (D委員) 4年間の評価として計画どおり。	3	3	3	3	4	3	3
	(2) 人事評価制度の運用	3	3	3	3	3	3	(B委員) 人事評価制度を運用し、見直しを図っている事から計画通りとする (D委員) 4年間の評価として計画どおり。 (E委員) 現状は試運転の段階だと思いが公正な人事評価制度は組織の活性化に不可欠であり、さらなる検討を求める。	3	3	3	3	3	3	3
	(3) 労働生産性の向上	4	3	4	4	3	4	(A委員) 労働生産性の継続した測定が必要 (D委員) 時間外勤務を抑制することができているが、4年間の評価として計画どおり。 (E委員) 目標期間内において労働生産性は改善傾向が見てとれることから評価できる。	4	3	3	3	4	3	3

内 容 項 目	第3期中期目標期間						第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	第2期の 評価結果	参 考				見込 評価	第3期 評価
	法人 自己 評価	評価委員会評価							R1	R2	R3	R4		
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員								
1 業績管理の徹底		—	—	—	—	—		B	B	B	B	B	B	B
第3 財務 内容 の 改善 に 関 す る 目 標 を 達 成 す る た め と る べ き 措 置	(1) 診療実績の向上による収入の確保	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	3	4
	(2) 支出管理などによる経費削減	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	(3) 原価計算の活用	3	3	3	3	3	3	—	3	3	3	3	3	3

内 容 項 目	第3期中期目標期間						第3期中期目標期間の評価に係るコメント (判断理由、評価の意見等)	第2期の 評価結果	参 考				見込 評価	第3期 評価
	法人 自己 評価	評価委員会評価							R1	R2	R3	R4		
		A委員	B委員	C委員	D委員	E委員								
第3 財務 内容 の改 善に 関す る目 標を 達成 する ため とる べき 措 置	2	—	—	—	—	—		B	B	B	B	A	B	B
(1) 収支の改善	5	4	4	5	4	4	(B委員) 目標値や実績値は入院診療単価以外は目標値に届かず一過性のものと考え べきで、ポストコロナに備えて対策する必要がある。 (C委員) COVID-19患者の入院増加に伴い、一般入院患者数が減少し、医療収益は減少 したが、COVID-19診療による診療報酬上における特例措置や体制整備に伴う補助金 にて最終的には独法化後8期連続の継続した黒字となっている。 (D委員) 4年間の評価として計画を上回っていると評価。 (E委員) 経常収支比率で見るとR2年度から同規模黒字病院の実績を上回っており各 取組施策の効果は出ていることから計画を上回ると評価できる。	4	3	3	4	5	3	4
(2) 計画的な投資	4	3	4	4	3	4	(A委員) 次期はいよいよ建替えに向けた検討が必要になるが、市と密に連携しながら 進める必要がある。 (B委員) 電子カルテを計画的に更新、コロナ診療に対応できる環境整備を補助金で実 施。あり方検討部会で病院将来構想をまとめ再整備に向けて準備が始まったことを 評価。4期にむけて病院の耐用年数を考慮し早急にプロジェクト委員会を立ち上げる べき。 (D委員) 4年間の評価として計画どおりと評価。 (E委員) 目標期間を通じて建替を意識した投資計画にならざるを得ず、難しい判断を 迫られる場面もあったのではないかと。そうした中で将来を見据えた投資を行えたこ とは評価できる。	3	3	3	3	3	3	3